

<第4・5時>

(1) 本時の目標

- 安全と衛生に心掛け、調理実習に取り組もうとする。 (関心・意欲・態度)
- テーマに沿った朝食を作ることができる。 (技能)
- 実習を基に、説明用の資料を作成することができる。 (技能)

(2) 本時の学習指導過程

過程	学習活動	教師の指導・支援	評価とその支援
課題の把握	1 調理実習でのねらいを確認する。	(1) グループで考えた献立が適切かどうか確認するための実習であることを伝える。	
	2 本時の学習課題を確認する。	(2) 調理時間が30分であることを確認し、時間内に調理を終えるため一人一人の活動やグループの協力を促す。	
	朝食をつくり、グループで考えた朝食のよさを確かめよう。		
課題解決の準備・実践	3 実習計画表を基に実習手順、仕事分担を確認する。	(3) 実習計画表に従い実習させることにより、時間内に安全に留意して調理できるよう配慮する。	【関心・意欲・態度イ】 安全と衛生に心掛け、意欲的に調理実習に取り組んでいる。〈観察〉 ※支援…机間指導によりアドバイスをを行う。 【技能ア】 基本的な調理操作ができる。〈観察〉 ※支援…これまでの実習を想起させ、机間指導によりアドバイスをを行う。 【技能イ】 実習を基に説明用資料を作成することができる。〈説明用資料・ワークシート〉 ※支援…完成例を参考にさせるとともに、既習内容を確認させる。
	4 調理実習を行う。 ・ 調理する。 ・ 他グループの献立を確認する。 ・ 試食する。 ・ 後片付けをする。	(4)-1 机間指導により、各グループの調理の進度を調整する。 (4)-2 調理についての既習内容を想起させるとともに、実習のねらいを確認しながら作業を進めるように促す。 (4)-3 次時の他グループへのアドバイスのために、実物を見ての気づきをメモさせておく。 (4)-4 資料作成用にデジタルカメラで朝食献立の写真を撮影させておく。	
	5 説明用資料を作成する。	(5)-1 実習時の朝食献立の写真を用い、説明用資料を作ることにより、発表内容が視覚的にとらえられるようにする。 (5)-2 工夫点をキーワード的にまとめることで、発表内容のポイントを把握させる。	
評価・実践化	6 発表内容を確認する。	(6) グループ内の発表の順番や手順を確認しておく。	
	7 次週の学習内容を知る。	(7) 次時は、グループ別発表を行い、それを基に各自の「わたしの自慢の朝食」を考えることを伝える。	